

文学館だより



令和 8 年 9 月 1 日
若山牧水記念文学館
TEL 0982 - 68 - 9511
文 責 日 高 第 125 号

小田加奈子コンサート開催

8月23日（日）



中央 小田加奈子さん
左 河野浩子さん（伴奏）
右 池田知聡さん（朗読）

文学館ラウンジがコンサート会場に。
「郷土の歌人若山牧水を郷土の歌手が歌うコンサート」を今年も開催することができました。昨年は文学館開館 20 年でもあり 5 月に開催。今年は牧水生誕の日前日に開催しました。

友情出演池田知聡（ともあき）さんの「しらとりの歌」朗読、小田加奈子さん「しらとりの歌」（古関裕而作曲）歌唱からコンサートが始まりました。私は、オープニング早々から涙をこらえるのが必死でした。

小田加奈子さんが歌い上げる「しらとりの歌」「坪谷慕情」「あこがれ」（さだまさし作詞作曲）他に加え、今年は声優池田知聡さんの友情出演が叶い、牧水の短歌、随筆、手紙を朗読していただきました。

2 部スタートは、小田さん池田さんに出題していただき牧水クイズ大会を実施。

全問正解なるか、みなさんも挑戦してみてください。

- 1 昨年は牧水生誕 140 年の記念すべき一年でした。さて、若山牧水の誕生日はいつ？
A 今日 8 月 23 日 B 明日 8 月 24 日
- 2 牧水は歌人として世に踏み出す前、一度だけ背広を着て勤めに出ました。さて、その仕事は何？
A 新聞社に勤め、社会部記者をしていたことがある
B 出版社に勤め、雑誌の制作をしていたことがある
- 3 牧水は、小柄な体格で知られています。ずばり、牧水の身長は何cmでしょう。
A 約 1 5 0 cm B 約 1 5 6 cm
- 4 牧水が詠んだ短歌には、多くの大和ことばが使われています。「疲労困憊」の「疲労」は「つかれ」「少年少女」の「少女」は「をとめ（おとめ）」と詠みました。さて、「南郷温泉、別府温泉」などの「温泉」を牧水は何と詠んだのでしょうか。
A わきゆ B いでゆ
- 5 10 年を経て熊本地震が大きな被害をもたらしていますが、「地震」を大和ことばで何というでしょう。
A ゆれ B なみ（ない）

正解 1 B 2 A 3 B 4 B 5 B

会場の全問正解者は
15名でした。



会場が若山牧水記念文学館だということに感動しました。スペースも雰囲気も一番いいのではないかと思います。（略）
〈参加者より〉



私どもの思いに賛同し、快くお引き受けくださる小田加奈子さん、ありがとうございました。友情出演してくださった池田知聡さん、ありがとうございました。ご来場くださったみなさま、ありがとうございました。

牧水生誕の地で開催できる喜びを大切に、来年の第 3 回小田加奈子コンサート実現に繋げていきたいと思ひます。

第16回牧水・短歌甲子園 開催 8月8日(土)～9日(日)

今年も高校生の夏がやってきました。今では「○○甲子園」と呼ばれる高校生の大会は数知れず。しかしながらこの日向市と言えば「牧水・短歌甲子園」。第16回を数える今年は、予選過去最多68チームの中から本選出場を勝ち得た12校12チームが日向市に集結しました。

高校生の言葉選び、ディベート力、物怖じしない舞台魂、どれも見事なものでした。結果詳細は日向市ホームページをご覧ください。



日向市ホームページより結果抜粋

【団体戦】 優勝 [愛知県] 名古屋高等学校
準優勝 [神奈川県] 神奈川県立光陵高等学校
第3位 [宮崎県] 尚学館高等部
第3位 [宮城県] 仙台市立仙台高等学校

【個人戦】

【牧水賞】…来場者の投票で決まります [宮崎県] 尚学館高等部3年 帯谷 到子 さん
苗字から急に名前と呼ばれた日恋の歯車動き出すとき
【若山牧水記念文学館長賞】 [神奈川県] 神奈川県立光陵高等学校2年 石井 桃衣 さん
踊り字のように誰かに添いたくて「いしいもゝえ」と名前を告げる
【日向若山牧水顕彰会長賞】 [宮崎県] 県立宮崎大宮高等学校2年 今西 桜笑 さん
朝霧に鈴の音響くお社で踊る私を神木は見る

高校生の柔軟な表現に出会い、これも短歌なんだと再認識させられた今大会でした。

添えられた悲しきレモン ニコニコとかじる私に「まじか・・・」の視線
第一条思ハセブリハ膝カクンLJKの治安維持法
ばあば作ポテサラサンドほおばってチャッピーだけが安心じゃない

第76回牧水祭を開催します 献酒にお越しください

第76回牧水祭【牧水没後98年】

- 主催 日向市・日向市教育委員会・日向若山牧水顕彰会
- 期 日 令和8年9月17日(木) 牧水の命日
〈雨天決行、荒天の場合は順延(前日判断)〉
- 場 所 牧水生家周辺及び牧水公園ふるさとの家
受付 午前9時～ 牧水生家駐車場



〈第1部 歌碑祭〉 時間 9:30～10:00
場所 牧水生家 夫婦歌碑前
内容 歌碑前において短歌朗詠、献酒

牧水先生の一首

折に触れて出会う一首を紹介しています

飲仲間といふがうちにも飲口の無二なる汝との飲別離かな

のみなかま というがうちにも のみくちの おになるなれとの のみわかれかな

沼津牧水会の出版している『牧水 酒のうた』には367首が収められている。酒の歌だけを集めた面白い本で、そのなかでも「飲」の字を三度用いたこの歌は格別である。「飲仲間」「飲口」「飲別離」。「飲口の無二なる」は飲む口つきはもちろん、相手の人柄への深い愛情と信頼を感じさせる。「飲別離」は『日本国語大辞典』にも出ていない語で、牧水らしい。大正7年4月の作で「郷里の友平賀春郊の帰国を東京駅に見送る」の詞書がある。いわゆる草鞋酒の一首だ。春郊は延岡中学以来の最大の親友で、牧水から送られた書簡264通を大切に保管していた。牧水が常に本心を語った「無二」の友である。(引用『若山牧水の百首』伊藤一彦著)

牧水の命日を迎える9月。大切な人と静かに酒を酌み交わしたいと思わせる一首であった。

参照 『若山牧水全歌集』伊藤一彦編